

ふかがわの風

令和5年12月号

短所は「直す」もの？

校長 福満 健二

長所・短所は人それぞれです。

自分に対しても人に対しても、まず「よさを伸ばすこと」が、大切なことは言うまでもありません。けれども、気が付くとまた同じ失敗をしてしまうといったことは、われわれ大人であってもよくある話です。

「直す」は正しい状態・望ましい状態にする（近づける）こと（機械を直すなど）。「治す」は怪我や病気からもとの健康な状態に戻すこと（かぜを治すなど）です。クセや性格などは病気ではないので「直す」を当てるそうです。

つまり、短所は治療するものではないとも言えそうです。長所も短所も、その人がもって生まれた個性の延長上にあるとも言えるでしょう。

もちろん自他に大きな不利益を被るような短所があるなら直ちに改める必要がありますが、そこまで深刻な状態でなければ、ムリに直そうとするのではなく、自分の短所を受け入れ、その対処法を模索することを考えてみてはいかがでしょうか。

子どもにも当然いろいろな個性があり長所や短所があります。

我々大人は、それらをまず受け入れること。（〇〇なところがあってこそその〇〇ちゃん！）そしてある程度改善の必要性を感じるならば、厳しく叱責するのではなく、本人に気づかせて、これからどう対処したらよいかを一緒に考えることが大切ではないかと思えます。

自分の短所（弱点・思考のクセ）を知っていると、これから大事な人間関係を築く必要があるときに、「自分にはこんな短所がある。自分ではなかなか気づかないからもし迷惑をかけてしまっているときは教えてほしい。」とあらかじめ伝えることができます。

多動性・不注意・コミュニケーション障害等の傾向は、大人・子どもに限らず誰でも持っているそうです。ある資料には、自分の短所（個性の弱点）に対する対処法を身に付ける・環境を変える・周囲の人にサポートを求めるなどができるようになることが大切であると述べられています。

短所を「直す」とは、「社会生活や人間関係においてうまく調和できる方法を身につけさせる」ことなのではないでしょうか。

自分の短所にはなかなか気づきにくいものです。それだからこそ、思いやりのある人間関係の中で、気づき・受け入れ・対処法を考えることができれば、より豊かな人間関係が築けることと思えます。



家族や親族で過ごす時間が多くなる冬休み。

じっくりと語り合い、大切な絆を深める素敵な年末・年始になりますよう祈っております。

【JA共済作品コンクール ポスターの部】

銅賞 4年 新盛 さん

【曾於市読書感想文コンクール】

特選 1年 城戸 さん

【「家庭の日」作品展】

努力賞 4年 大迫 さん

努力賞 3年 富永 さん



【南九州市かわなべ青の俳句大会】

入選 5年 中嶋 さん

入選 6年 大迫 さん

入賞おめでとう
ございます！

親子おさかな教室

11月26日(日)に県の地域振興局の方々をはじめ、漁業士会、無垢食堂の方々を講師として、第2回目となる「PTA親子おさかな教室」を実施しました。

漁業士会の方による魚の解体ショーに始まり、子どもたちの魚のさばき体験。さばいた魚を使った無垢食堂の方による調理講習。そして自分たちで作った料理を味わうという心もお腹も幸せいっぱいの充実した時間となりました。



持久走大会

12月8日(金)に持久走大会が行われました。10月から毎朝、保健体育委員会の呼びかけで、友達と楽しそうに校庭を走る姿がたくさん見られました。当日は自分の目標に向かって最後まで精一杯、全員が走り抜くことができました。沿道やユズ畑からの保護者や地域の方々、友達の熱い声援や拍手が、走っている子どもたちの力になっていました。温かいご声援、本当にありがとうございました。



【1月 行事予定】

- 9日(火) 始業式
PTA街頭交通指導(～12日)
清掃強調週間(～12日)
いじめ問題を考える週間(～14日)
- 13日(土) 校内書き初め(全学年)
- 15日(月) PTA朝のあいさつ指導
- 16日(火) 鹿児島学習定着度調査(～17日:5年生)
- 19日(金) 授業参観・家庭教育学級,さんぺい号
- 22日(月) 鹿児島をまるごと味わう
学校給食週間(～26日)
- 26日(金) 新入学児童入学説明会
- 30日(火) 中学校入学説明会(6年生)



生活科・社会科見学

1・2年生と5・6年生が上野原縄文の森に見学に行きました。どんぐりアート作りや縄文服着用体験などをしました。縄文時代をはじめとした人々のくらしを学ぶことができました。



ブログ「深川元気っ子」で子どもたちの頑張りが、楽しくたくましく成長している様子を配信しています。ぜひご覧ください!

